

福祉にいがた

Fukushi Niigata

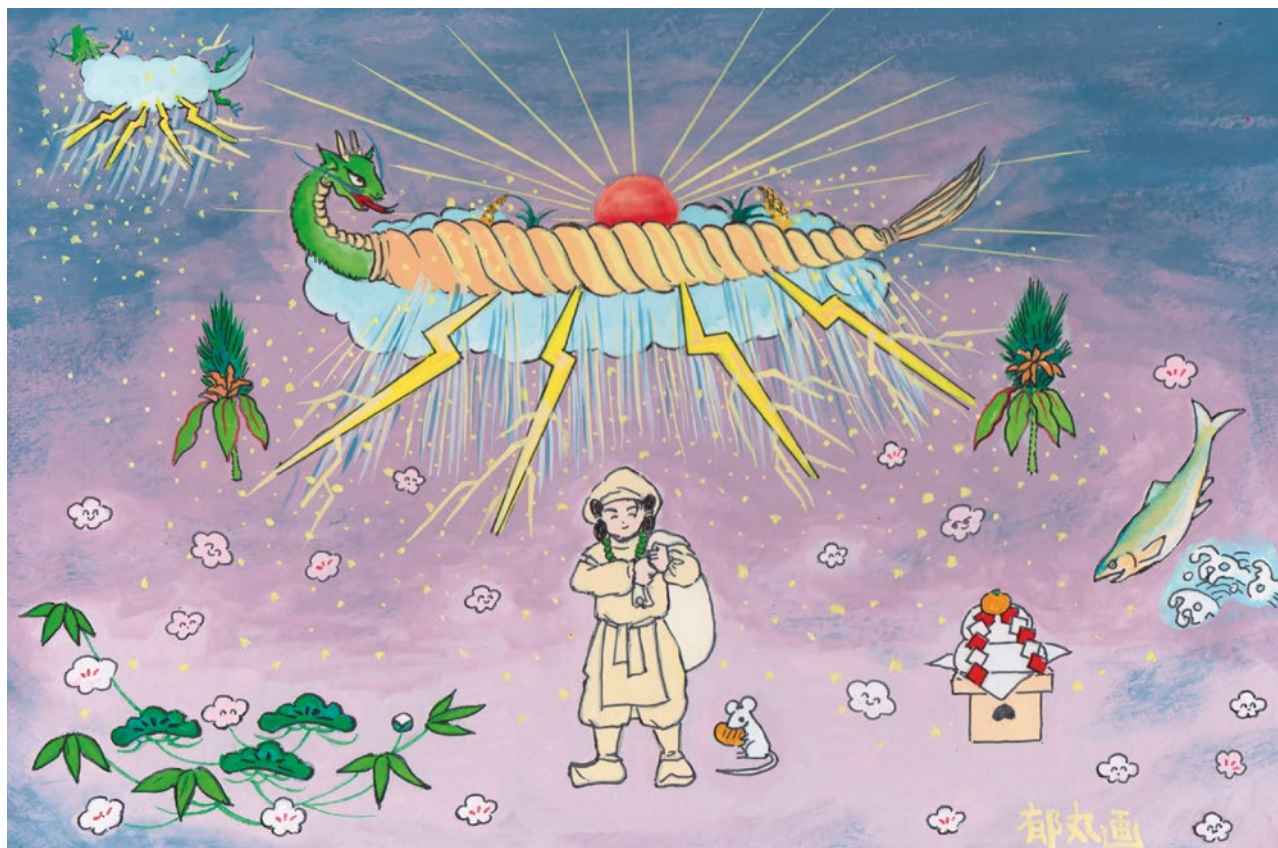
CONTENTS

巻頭特集

年頭のごあいさつ（2・3面）

- 地域紡ぐ 長岡市・太田食事サービスボランティアの会活動紹介
- 長岡市で福祉・介護・健康フェア2019開催
- 佐渡総合高等学校のボランティア活動紹介

1月号
2020
第809号



絵 高橋 郁丸「お正月さま」(漫画家・新潟市中央区)・文 11面



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<http://www.fukushiniigata.or.jp/>

バックナンバー
こちらから

年頭挨拶



社会福祉法人
新潟県社会福祉協議会
会長
竹内 希 六

令和2年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

県民の皆様には、日頃から社会福祉の推進に、ひとかたならぬご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

また、昨年は多くの災害が発生いたしました。ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

近年の社会福祉を取り巻く情勢は、少子・高齢化の急速な進行や核家族化、雇用環境の変化などにより、ひきこもりなどの社会的孤立や経済的困窮をはじめとする、様々な福祉課題、生活課題が顕在化しております。このような中で、我が国では、さまざまな改革が行われ、すべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現に向け、持

続可能な社会保障制度への移行が進められています。

一方、深刻化する介護施設等の福祉人材不足への対応が大きな課題となっております。

新潟県社会福祉協議会といたしましては、福祉に従事する方々が誇りを持って働ける環境づくりに努めるとともに、魅力ある仕事として評価・選択されるよう、これまで以上に力を入れてまいりたいと考えております。

また、「共に生き共につくる福祉社会」を目指して、地域での支え合いの構築や、権利擁護の推進に向けて、皆様と共に地域の多様なニーズを受け止め、さらなる取組を進めてまいります。

一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



社会福祉法人
新潟県共同募金会
会長
小田 敏 三

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昭和22年に国民たすけあい運動として始まった共同募金運動も73回目を迎え、昨年度までに寄せられた寄付金の累計は244億円余りとなりました。

これもひとえに皆様方からの温かいご支援・ご協力の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。新潟県共同募金会では、平成30年度から3年間を「募金力回復期間」と定め、2020年代の早い時期までに募金の減少傾向に歯止めをかけるために、様々な取り組みを実施しています。

令和元年度は目標額を4億8、607万4千円と定めその達成に向けて懸命に取り組んでおり、皆様方からお寄せいただいた寄付金は県内の民間福祉活動やボランティア活動、

更には災害ボランティアへの支援などに活用させていただきます。

また1月からは、障害者支援や貧困対応など特定のテーマに絞って、助成を受ける団体が積極的に募金活動に参加する「にいがた・新テーマ募金」と、高齢者世帯等の除雪ボランティアを支援する「あったか雪募金」も始まりました。

新潟県共同募金会は、これからも県内の地域福祉活動を支援するため、更なる努力を続けてまいります。

赤い羽根共同募金運動に今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、新年のご挨拶いたします。



新潟県知事
花角英世

令和2年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。皆様には、日ごろから、福祉行政の円滑な推進にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、G20新潟農業大臣会合の開催など「新潟の魅力」を広く国内外の皆様にお伝えする機会に恵まれた1年でした。本県初開催となる「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」においては、県民に障害者の芸術文化活動を知っていただく機会になったほか、障害のある人となん人が交流することで、相互理解の促進につながることができました。さて、令和という新しい時代を迎え、本県は多くの地方団体と同様、人口減少という過去に例のない深刻な課題に直面しており、また、県財政は危機的な状況にあります。そのような中でも、活力を維持・向上できる社会を創ることが急務であり、

柔軟かつ新しい発想で県の施策を進め、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」を創っていく必要があります。

県といたしましては、「全ての世代が生き生きと暮らせる社会」の実現に向けて、若者、子育て世代、お年寄りなど、それぞれの世代の「思いや願い」に丁寧な耳を傾け、小さい声にもしっかりと寄り添い、市町村との連携を緊密に図りながら、課題に対して一つ一つ丁寧に取り組んでまいります。

社会福祉協議会をはじめ、福祉活動をされている皆様におかれましては、本県の地域福祉の推進に向けて更なるご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつとします。

謹賀新年

(二財)新潟県民生委員児童委員協議会

会長 長谷川 剛

(二財)新潟県老人クラブ連合会

会長 光村 利寛

(二社)新潟県母子寡婦福祉連合会

会長 相澤 知子

(二社)新潟県手をつなぐ育成会

理事長 五十嵐 勝彦

(二社)新潟県老人福祉施設協議会

会長 高橋 是司

新潟県ホームヘルパー協議会

会長 岩崎 典子

新潟県保育連盟

理事長 平澤 正人

新潟県私立保育園・認定こども園連盟

会長 伊東 一男

新潟県保育士会

会長 星野 正子

新潟県社会福祉法人経営者協議会

会長 平澤 正人

(公社)新潟県社会福祉士会

会長 星井 勝博

(公社)新潟県介護福祉士会

会長 宮崎 則男

新潟県内社協職員連絡会

会長 宮本 慶之

新潟県社会就労センター連絡協議会

会長 寺口 能弘

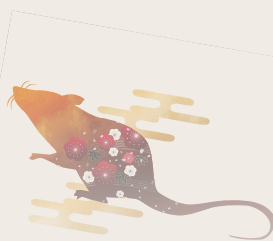
(二社)新潟県介護支援専門員協会

会長 佐々木 勝則

新潟県災害福祉広域ネットワーク協議会

会長 竹内 希六

(新潟ユニゾン)プラザ入居福祉団体



安心できる暮らしを提案し、明日のためにできること、地域共生社会の実現に向けて、テーマとする「福祉・介護・健康フェア2019」（新潟県社会福祉協議会など主催）が今年も、12月1日に長岡市・ハイブ長岡で開催されました。暖かい日差しに恵まれ、4800人近い来場者でにぎわいました。

福祉・介護・健康フェア2019 in 長岡

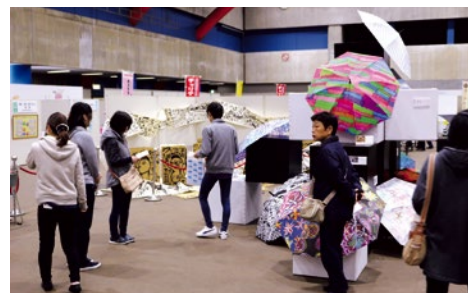
岸見氏講演に多くの人が感銘

会場内には、パラリンピック正式種目の「ボッチャ」体験コーナーや壊れたおもちゃを修理する長岡おもちゃ病院が出張開院、認知症の相談を行い、参加者同士が交流できるオレンジカフェも開店、福祉や介護、健康に関する最新情報を発信する約40の企業・団体のブースが出展しました。

障がいのある人のありのままの感性で表現した作品を展示した「アール・ブリュット」も開かれ、多くの人が熱心に見て回っていました。

また、障害のある人たちが携わった品々が並んだノウフクマルシェでは、野菜の重さ当ても行われ、にぎわいをみせていました。

メインステージでは、最初に哲学者でベストセラーとなった「嫌われる勇気」の著者の岸見一郎さんが登壇し、「よく生きるということ」と題して講演。「対人関係は悩みの源泉であり、幸せの源泉でもある。10人のうち1人は自分を信じてくれると思って、飛び込む勇氣が必要だ」と強調しました。開場と同時に席



障がいのある人の感性あふれる作品が並んだ「アール・ブリュット展」



骨の健康度チェックなどが行われた「くすりと健康のイベント」

に座る人が多く、すぐに満席になる盛況ぶりです。立って聞き入る人も多くいました。「いい話だったね」と言いながら帰る人も多くいました。

午後の最後は、テレビドラマ「コメットさん」の主演などで知られる、女優で心理カウンセラーの大場久美子さんが講演。「地域を元気にするコミュニケーション」をテーマに、自身が発症した「パニック障害」の闘病から克服までの体験などユーモアを交えて話しました。講演後には、来場者との記念撮影や握

手、ハグが予定時間を大幅に超えても行われました。このほか、セミナーブースでは、「障害者の自立支援」をテーマとしたシンポジウムや「楽しく学べる成年後見制度」のセミナーが行われ、「くすりと健康のイベント スマートライフ in 長岡」のコーナーでは、多くの来場者が骨の健康度チェックや血管年齢測定を行っていました。

主催は新潟県社会福祉協議会、新潟日報社、長岡市社会福祉協議会、共催・長岡市で開催。上越会場（10月26日）と新潟会場（11月17日）も各開催されました。



一人じゃないよと呼びかけた大場久美子さん



新潟県社会福祉協議会の関谷政友常務理事・事務局長(左)らがテープカット



盛況だった岸見一郎さんの講演



赤い羽根 情報

「にいがた・新テーマ型募金」 始まる

3年目となる「にいがた・新テーマ型募金」募金期間：1月1日から3月31日までが始まります。

この募金は助成団体が積極的に募金活動に関わることで「寄付者の共感と納得」を得る新たな募金であり、今年度は14団体の参加がありました。

皆様のご協力をよろしく願います。なお、団体の活動内容の詳細等については新潟県共同募金会のホームページでも紹介しています。

団体名	主な活動内容	目標額(千円)
フードバンクにいがた	生活困窮者への食糧支援	2,000
教員サポートSmileういんず	クラスサポート支援	600
オーバーゾーン	問題を抱える人への支援	5,000
新潟いのちの電話	自殺防止運動の展開	100
えんでばよごし	地域の居場所の運営	700
上越地区手をつなぐ育成会	障害者への支援	150
さいがためくもりの会	障害者支援施設の運営	200
NPOさんじょう	生活困窮世帯への支援	1,000
フードバンクしばた	生活困窮者への食糧支援	2,000
新潟いのちの電話後援会 下越支部	自殺防止運動の展開	300
サポートセンター柏崎	地域の諸問題の解決	350
NPOかも小町	認知症カフェの運営など	1,800
フォルトネット	引きこもりなど問題を抱える人への支援	500
夢工房	障害者支援施設の運営	100
合計 14 団体		14,800

募金百貨店プロジェクト 贈呈式

募金百貨店「ハッピーハートにいがたプロジェクト」第8弾の募金贈呈式が11月26日に(株)ウオロクホールディングス本社で行われました。

贈呈式では、ウオロクの本多伸一社長から小田会長に寄付金87万6,714円が目録が贈呈されました。

本多社長からは「今後も地域社会の発展、社会福祉の向上のために協力していきたい」とのお言葉をいただきました。



贈呈式の様子

小田会長は、「様々な地域福祉課題に対応する取組みに有効活用させていただきます」と挨拶しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

たすけあい作文コンクール 表彰式

第67回「たすけあい作文コンクール」の表彰式が11月24日に新潟ユニゾンプラザで行われました。

今年度は県内の46小・中学校から159編

の応募があり、入賞6編と佳作20編が選ばれました。

受賞者を代表して榎田一穂さんが「自分の伸ばした手を誰かが握り返して、そうして繋がっていくのが助け合いののだと感じました」と挨拶しました。

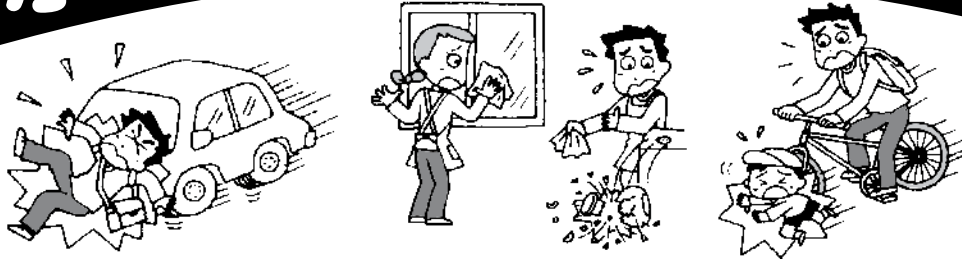
なお、入賞した作文は新潟県共同募金会のホームページからご覧になれます。



表彰式の様子

県知事賞	新潟大学教育学部附属新潟中学校1年 榎田 一穂 さん
県教育委員会 教育長賞	長岡市立青葉台小学校3年 宮下 音奏 さん
新潟日報 社長賞	長岡市立川崎東小学校6年 寺井 優 さん
NHK 新潟放送局長賞	上越市立浦川原中学校3年 山崎 早記 さん
県社会福祉 協議会長賞	新潟市立関屋小学校6年 伊藤 結風 さん
県共同募金 会長賞	長岡市立東中学校2年 田代 愛咲美 さん

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること
(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。
※自宅などボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。(ケガの補償)
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなった。(ケガの補償)
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。(ケガの補償)
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。(賠償責任の補償)
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。(賠償責任の補償)

保険金額・年間保険料(1名あたり)

		Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円	
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)		
年間保険料	基本タイプ	350円	510円	
	天災タイプ ^(※) <small>(基本タイプ+地震・噴火・津波)</small>	500円	710円	

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償します(天災危険担保特約条項)が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

- 行事参加者(主催者(個人)を含みます。)全員のケガを補償
- 行事主催者の損害賠償責任も補償

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

- 送迎・移送サービス利用者者を特定したAプラン
- 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

- 在宅福祉サービス (公的介護保険対象外 サービスを含みます。)
- 障害福祉サービス
- 児童福祉サービス
- 障害者地域生活支援事業
- 地域福祉サービス
- 介護保険サービス など

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

ず〜む 2020 Vol.39

ヤサシサノタネ

「人に優しく」。当たり前のことを果たして「本当の意味」で優しくできていますか？

そんな話題をふと先日耳にした。その瞬間は深く考えることはできなかった。そのことが少し気になり「優しさ」について近所のカフェで今にも倒れそうなるふわふわパンケーキと、いまだ慣れない苦手なコーヒートをいただきながら考えてみた。

過去を振り返ってみる。自分の心の傷や弱さ、悩みは自分には分からない。それを他人が理解することは難しい。それでも「もし、自分がそうだったら」と本気で考え、寄り添ってくれる「優しさ」が少しの支えとなったことがある。相手のことを第一に考え、私のために仕事を休んでくれて、イヤな顔をせずいつも通りに接してくれる。「そんなこともあったなあ」

と思いついてにやけてみる。そんな私を見てきつと店員は変な客だと思っただろう。しかし、そんな心温まる話もあれば、勘違いの優しさも世の中にはあふれている。自分が不利益になるからと「してあげた」ことを優しさとして履き違え、それを「良いこと」だと思っている。そんな「自分中心の優しさ」が蔓延っている。他人の言うことを聞かず、寄せ付けず、「君のために」「これまでの経験から」と自分の考えを押しつけることが優しさなのか。時に他人の押しつけた優しさという善意が、受けた側からしてみると悪意や暴力と感ずることがある。正当性さえあれば相手が傷ついても構わないという考えは私には到底理解出来ない。

人を粹で測らず、相手自身を見れば必ずと人柄が分かるはず。その人が助けを求めたとき、どのように手助けをするか。優しさ次第で救われる人もいれば、傷つく人もいる。本当の意味での優しさを残せば、きっとそれが別のところで優しさを生む。今からでも遅くはない。優しさの種を蒔き、他人に優しい世界であってほしい。

(三青)

寄付

寄付ありがとうございました
(敬称略)

日付	令和元年11月29日
寄付者	カナカン株式会社「乾親会」
寄付額	カップ麺 924食
日付	令和元年12月11日
寄付者	株式会社本間組石友会
寄付額	指定寄付 76,000円

日付	令和元年12月14日
寄付者	BSN新潟放送愛の募金
寄付額	2,000,000円
助成対象施設	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟天使園 ・野いちご工房 ・工房はたや ・板倉ふれあい工房 ・ダイアクティビティセンターはろはろ ・新潟県災害ボランティア調整会議 ・みのわの里 工房こしじ ・クローバー歩みの家 ・セルブこぼし工房 こごめ ・希望の家

新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介【和室】

[広さ] 20畳
(座卓6卓、座椅子24本)

地域の集いやサークルの集いの場、茶道・華道のお稽古、趣味などに広くご利用いただけます。



貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。無料の専用駐車場(220台)を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。
URL: <http://www.unisonplaza.jp/>

【小研修室1～4】

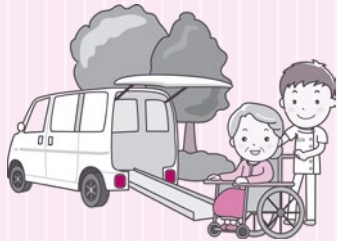
[定員] 24～40名
[広さ] 81～102㎡



会議・セミナー・教室など幅広い用途にお使いいただけます。
跳ね上げ式テーブルにより、配置換えの移動も容易にできます。

■介護費用 初の10兆円超

厚生労働省が11月28日発表した「介護給付費等実態統計」によると、介護保険給付や自己負担を含む介護費用が2018年度に初めて10兆円を超えた。ヘルパーの自宅訪問や、通所でのリハビリといった介護サービスを利用した人も前年度比1.6%増の517万9200人で過去最高となり、高齢化の進行で社会保障費が膨張している実態が浮き彫りになった。



■「子どもの貧困対策大綱」39指標

政府は11月29日、貧困家庭の子どもへの支援方針をまとめた「子どもの貧困対策大綱」を閣議決定した。5年前に策定した大綱を見直し、貧困の実態をより詳細に把握するため、指標に「ひとり親の正規雇用割合」「公共料金の滞納経験の有無」などを追加、計39項目とした。生まれ育った環境で子どもの現在と将来が左右されないよう、早期の対策や自治体の取り組みを充実させる。また、子どもの生活実態や意識に関する全国共通の調査を来年度にも実施する方針を決め、大綱に盛り込んだ。自治体ごとに比較分析し、地域の実情に応じた取り組みができるよう後押しする。

■単身高齢者のごみ出し支援 来年3月から

総務省は、11月30日までに、ごみを集積場まで運ぶのが困難な1人暮らしの高齢者らの生活をサポートするため、戸別訪問してごみの回収をする市区町村を財政支援すると発表した。来年3月に配る特別交付税から経費の半額を手当する。

主に高齢の要介護者や障害者の単身世帯が対象。市区町村は、玄関先でごみを回収する場合の人員費などの増加分や、支援を始めるための対象世帯の調査費の半額を特別交付税で賄える。集積場までのごみ出しを代行するNPOへの補助金や、社会福祉協議会などへの委託費にも半額まで充当できる。

自動車共済福祉施設割引

このたび社会福祉施設事業者様に向けて自動車共済に「福祉施設割引」を新設いたしました。充実の補償内容と納得の掛金をご確認いただき、ぜひ自動車共済への加入をご検討ください。

社会福祉事業を運営する事業者様が所有・使用する
 自動車の自動車共済掛金に **10%割引**
 を適用します。

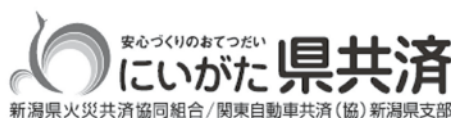
ご加入中の自動車保険の無事故等級も
 そのまま継承することができます。



経費削減の第一歩にまずはお見積りから！

☆☆福祉施設割引の適用には一定の条件があります。☆☆

※本広告は福祉施設割引の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記にお問い合わせください。



火災共済

生命共済

自動車共済

〒951-8133

新潟市中央区川岸町 1-47-1 新潟県中小企業会館内

TEL 025-267-1221 FAX 025-233-7255

URL <http://kenkyosai.jp> にいがた県共済で検索

<引受共済：関東自動車共済協同組合> 平成30年9月作成 No.1809107

地域紡ぐ

太田食事サービスボランティアの会

(菊入隆夫・代表 長岡市)

高龍神社や蓬平温泉で知られる長岡市太田地区は、濁沢、蓬平、竹之高地の3つの集落からなる地域です。その拠点施設の太田コミュニティセンターで、一人暮らしのお年寄り向け「食事サービス」が続けられています。毎月2回、そのお昼ご飯を楽しみにやってくるお年寄りは、平均年齢82、83歳で、自家用車で送迎するのは、団塊の世代のボランティアということ

です。「食事サービスボランティアの会」が正式に発足したのは、2006（平成18）年春。最大震度7を記録した中越地震で、強い揺れた仮設住宅での生活から戻ってからです。「食事サービス」は、以前から行っており、3集落が一緒だった仮設住宅でも続けられていたそうです。その絆が続いています。

お年寄りが楽しみにする昼食会

中越地震が過疎化に拍車を掛けているだけに、「食事サービスは、お年寄りのコミュニケーションが一番の

目的」で、多いときには30人ほどが集まりました。食事が終わっても、30〜40分ほどは、おしゃべりタイムを堪能して帰って行くとのこと

です。冬期間は送迎が難しいことから、お弁当を見守りを兼ねて配っています。

昨年暮れ、生命保険協会新潟県協会から助成を受けて、大鍋など調理用具を購入しました。長年活躍してきた調理器具は、コミュニ

ティセンターが、中学校の冬期間の寄宿舎として使われていた当時のもので、もうボロボロになっていました。「食事サービスボランティアの会」の運営の中心は団塊の世代です。その世代が後期高齢者となり、「サービスを受けるようになったときには、自助努力では難しくなる」と言います。行政などの手助けが必要となってきます。食事サービスや配食サービスに

地域の社会資源を耕し、共生社会に向かって、地域を支えるNPO法人や福祉関連団体などの活動を紹介いたします。 〓 〓 〓



話も弾む食事タイム



ボランティアが協力して盛り付け



ある日の献立



地区社協行事の一環の花いっぱい運動

◆メモ◆
太田食事サービスボランティアの会の一は、長岡市の太田地区社会福祉協議会（菊入隆夫会長）の事業として行っている。地区の行事としては、花見や花いっぱい運動、敬老会、しめ縄づくりなどに取り組んでいるほか、オープンスクールの太田小・中学校の子どもたちとお年寄りが一緒に、さまざまな行事を楽しんでいる。
地域の柱の太田コミュニティセンターは
住所 〒940-1121
長岡市濁沢町48213
電話 0258-232002

についても、病院系の事業者が行っている配食サービスに切り替えざるを得ない状況も予想されます。高齢の一人暮らし世帯が多い地区。見守り活動などお年寄りのケアをどう続けていくかも課題となってきますが、代表の菊入さんは「元気がうちは、地域を盛り上げていきたい」と話しています。



本校ボランティア部は、

平成4年に会員9人で同好会として発足しました。当時は校内でリングプル、牛乳パック、使用済みテレフォンカード、古切手などの回収を行うとともに、校



Aコープ畑野店にて3R啓発活動。本校生徒のデザインしたオリジナルエコバッグの無料配布

【部の紹介】

主な活動内容

(1) 校内活動

- ① ペットボトルキャップ回収活動と清掃
- ② 赤十字赤い羽根募金・災害等の募金活動

(2) 校外活動

- ① 各種施設(特別支援学校や老人福祉施設など)のボランティア活動
- ② 24時間テレビ街頭募金活動
- ③ 島内イベントへの協力
- ④ 3Rキャンペーン啓発活動
(本校オリジナルエコバッグの無料配布など)

佐渡総合高等学校
ボランティア部

やりがい、喜び感じ、

積極参加

内美化活動を中心に行っていました。1994(平成6)年には、同好会から部に昇格して、これまでの回収作業活動の他に、老人ホームへの慰問活動や各種施設の行事やお祭りなどの

補助員としてもお声がけいいただけるようになりました。平成13年、佐渡農業高校から佐渡総合高校に改組されましたが、それまでと同様に各種回収作業活動や各種施設のボランティア活動

もしれない、得になることがあるかもしれない”と考えてやってくる生徒もいますが、校外ボランティアで人と触れ合うことを通して、やりがいや喜びを感じて、積極的に活動に参加するようになり、地域の中の人脈を広げていくパワフルな生徒も存在します。

また、特別支援学校などのボランティアでは、実際

主体性・主体性を持って活動に臨み、思いやりの心を持って共に支え合い学び合うことが大切です。名前だけの部員ではなく、部員一人一人が目的を持って積極的に活動に参加し、地域貢献できる部活動にしていくことが今後の課題です。

ボランティア部顧問

富田 優子

|| 次回は2月号に掲載 ||

を行っています。現在の部員は16人です。ボランティア部に新たに入室する生徒たちは、それぞれに違った目的を持ってやってきます。中には、何か見返りがあるか

に子どもたちと関わり、コミュニケーションをとることによって、それまで抱いていた不安や自分自身の中にあつた壁が取り払われ、もっといろいろな人と関わっていききたいという積極的な気持ちになって帰ってくる生徒もいます。ボランティア活動は、自



たまったペットボトルキャップを社会福祉協議会へ

新潟の信仰

12月8日、遠くからやって来たお正月さまと、事納めで村を去っていくコトの神さまが、村はずれで行き会うという話を新潟県内のあちこちで聞くことができます。

コトの神さまは2月8日から12月8日までの一切の事を取り仕切る神さまと言

すが、その暮らしをリフレッシュしてくれるのがお正月さまです。

大掃除をし、神棚の注連縄しめなわを取り替え、大晦日おおみそかには年取魚としとりぎかなのつぺをいただき、氏神様に参って一年の感謝と新たな一年の発展を願います。門松はお正月の神さまの依り代よりしろで、門松を目印にお正月さまがやってきます。

今はお正月にもらうお小遣いをお年玉と呼んでいます。本来はお正月さまが人々に配る新しい魂のことでした。年は

お正月さま 人々の暮らしをリフレッシュ

われています。10カ月仕事をして2カ月の休暇をとるのでしょうか。家を出る時にお団子を作ってもらいお祝いしても

取りたくないと言いますが、新しい魂をいただいて今年も良い一年であるようお祈りいたしましょう。

もう何もないよ、というコトの神さまに対し、お正月さまは「俺が行けば、雪のようなマンマに、紅のようなトト(魚)に、油のような酒に、ごっつおして待ってる

文・絵 高橋 郁丸

(新潟県民俗学会理事)

新潟妖怪研究所長



生命保険協会新潟県協会

ボランティア18団体に助成金



助成を受けたボランティア団体と生命保険協会新潟県協会のメンバー

ボランティアグループ12団体が出席。寄贈目録を受け取った各団体の代表者は、お礼とともに、活動内容や物品の活用方法について紹介しました。

午後からは福祉巡回車の寄贈式が行われ、池上会長から柏崎市社協の本間厚幸会長に巡回車の「ゴールデンキー」が手渡されました。



福祉巡回車のゴールデンキー贈呈

生命保険協会新潟県協会(池上茂樹会長)は11月20日、社会福祉などの分野で活動している県内のボランティアグループ18団体に、物品購入費として117万5千円を寄贈しました。併せて、柏崎市社会福祉協議会に福祉巡回車1台を贈りました。

社会貢献・CR活動に取り組む同協会は、加盟する保険会社で働く約5千人の社員・営業職員などからの募金を財源に、毎年ボランティア団体への助成をしています。

福祉の現場

—福祉の現場で働く人たちに、
仕事の魅力と懸ける思いを聞きました—



社会福祉法人 中越福祉会
みのわの里工房こしじ 主任・職業指導員

あだち ゆうすけ
足立 裕介さん

- ◆資格
精神保健福祉士、社会福祉士
- ◆モットー
おもしろき こともなく世に おもしろく
すみなすものは 心なりけり (高杉晋作
辞世の句)
- ◆所属団体情報
みのわの里工房こしじ
就労継続支援B型事業・日中一時支援事業
長岡市浦 4712 番地 1
0258-92-2535
e-mail / ko-bo-koshiji@minowanosato.jp
ホームページ / http://minowanosato.jp

「障がいがある人がデザインした作品が地域に浸透し、地域を彩るようになってほしい。そのために、いろいろな所で、形で展示し、多くの人に見て、共感してもらいたい」
その思いが昨年結実、その一人のデザインが、長岡市を拠点とするアルビレックスBBのボランティアウェアに採用されたのです。「地域と協力してアートのスポーツを盛り上げて行ければいいな」。さらに、作品がイベントなどで使ってもらえるように営業したい、と強調。独特の感性あふれる、こうした作家の発掘にも力を入れています。

先月1日、ハイブ長岡で開催の「福祉・介護・健康フェア」の一角で「アール・ブリュット展in長岡Pentit」

地域での障がい者の活躍後押し

ル・ブリュット展in長岡Pentitが行われました。その中心メンバーです。3年前から関わり、障がいのある人の芸術性に魅力を感じ、尽力してきました。コーナーの真ん中には、さまざまに色付けされた傘がさらなる高みを目指すように展示してありました。

また当日は、フェアに出展した工房こしじのブースで、焼き芋係として忙しい一日でした。今は、芋は仕入れていますが、「来年度からは、施設の近くに畑を借り、芋作りからやりたい」と6次産業化を考えます。原価を抑え、利用者が外仕事で汗を流す機会をつくり、工賃増につながってほしい、との願いです。販路

も広げたいと構想は尽きません。利用者が地域に出て活躍できる場を後押しし、「利用者のスキルアップを図り、仕事の幅を広げたい」と力説します。

法人に就職時は、若者の支援に興味があり、障がい者の就職のサポートに当たっていましたが、利用者と一緒に手足を動かしたい、と現場へ。熱い語りからは、仕事が楽しくてしょうがない、という思いがあふれます。

通勤時間は1時間ほど。でも、帰宅すれば、奥さんと3人のまな娘が待っています。



アール・ブリュット展コーナー

ユニゾンの図書館ニュース

発達障害の子のためのハローワーク

監修：鈴木 慶太／飯島 さなえ
発行：合同出版

発達障害の子どもたちに就労支援を行っている著者がすすめる、160のお仕事を一挙紹介。子どもの特性に即して具体的にアドバイスを紹介。発達障害を持つ先輩たちの就労体験談・保護者必読のリアルな就職事情も大公開！支援の現場から生まれた使える「お仕事ガイド」です！

問い合わせ 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎ 025-281-5514



◆ご意見・感想お寄せください
◆〒950-08575 新潟市中央区上所2-2-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasisu@fukushinigaata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人／関谷 政友
定 価／5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
令和2年1月1日発行 (毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷／島津印刷㈱